

## 資料1

### 【 投球数制限について 】

- ・2021年度は周知期間とする
- ・2022年度よりすべての構成団体において完全適用とする

#### 1. 中学生（レギュラーの部）

##### 1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大80球とし連続する2日間で120球以内とする  
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、  
4連投（連続する4日間）は禁止とする  
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない  
\* 1日の試合数は問わない
- ③ 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない  
3連投させたい場合の1日目及び2日目の40球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても  
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

##### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

- 1日70球以内、週350球以内とする  
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

#### 2. 中学生（ジュニアの部）

##### 1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大70球とし連続する2日間で110球以内とする
- ② 3連投（連続する3日間）は禁止する  
\* 1日の試合数は問わない
- ③ 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
- ⑤ 連続する2日間で70球を超えた投手、並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても  
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

##### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

- 1日60球以内、週300球以内とする  
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

### 3. 愛知県中央支部の取組み事項

#### 【運営方法】

- ・投球カウンターを使用
- ・審判は基本的にカウントしない
- ・本部席にて役員が両投手の投球数をカウント
- ・イニング終了後に球数を確認、場内アナウンス
- ・投手が80球に達した時に場内アナウンス

	1	2	3	4	5	6
Aボーイ	⑫	⑨				
Bボーイ	⑩	⑦				

- 例) Aボーイズ〇〇投手、2回の表の投球数は9球、トータル21球です。(2回表終了後にアナウンス)  
 Bボーイズ〇〇投手、2回の裏の投球数は7球、トータル17球です。(2回裏終了後にアナウンス)  
 Aボーイズ〇〇投手、投球数が80球になりました。

### 4. 投球数制限パターン

#### 1) 中学生 (レギュラーの部)

	(1日目)	(2日目)	(3日目)	(4日目)	(5日目)
A	80	0	80	0	80
B	80	0	80	40	×
C	80	40	×	80	40
D	80	0	80	20 20 (ダブル)	×
E	45	30	×	80	30 10 (ダブル)

2日目がダブルの場合、1日目の投球数が80球以内であれば、  
 2日目の投球数は、1日目と2日目の合計が120球以内の投球は可

F	40以内	40以内	40	×	80
---	------	------	----	---	----

#### 2) 中学生 (ジュニアの部)

	(1日目)	(2日目)	(3日目)	(4日目)	(5日目)
A	70	0	70	0	70
B	40	30	×	70	40
C	70	40	×	70	40
D	70	0	70	40	×
E	70	0	70	20 20 (ダブル)	×
F	35	30	×	70	30 10 (ダブル)

2日目がダブルの場合、1日目の投球数が70球以内であれば、  
 2日目の投球数は、1日目と2日目の合計が110球以内の投球は可

## 5. 小学生（レギュラーの部）

### 1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大65球とし連続する2日間で105球以内とする  
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、  
4連投（連続する4日間）は禁止とする  
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない  
\* 1日の試合数は問わない  
3連投した投手は翌日は捕手としても出場できない
- ③ 大会中は1日65球以内とし、翌日投球を休めば3日目は65球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない  
3連投させたい場合の1日目及び2日目の40球以上はカウントされる
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

- 1日50球以内、2日間で90球以内とする  
また2日間投球した場合、3日目は投球してはならない

## 6. 小学生（ジュニアの部）

### 1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大60球とし連続する2日間で100球以内とする
- ② 3連投（連続する3日間）は禁止する  
\* 1日の試合数は問わない
- ③ 大会中は1日60球以内とし、翌日投球を休めば3日目は60球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
- ⑤ 連続する2日間で60球を超えた投手、並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても  
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

- 1日50球以内、翌日は投球してはならない

7. 投球数制限パターン

1) 小学生 (レギュラーの部)

	(1日目)		(2日目)		(3日目)		(4日目)		(5日目)
A	65	-	0	-	65	-	0	-	65
B	65	-	0	-	65	-	40	-	×
C	65	-	40	-	×	-	65	-	40
D	65	-	0	-	65	-	20 20 (ダブル)	-	×
E	40以内	-	40以内	-	40	-	×	-	65

2) 小学生 (ジュニアの部)

	(1日目)		(2日目)		(3日目)		(4日目)		(5日目)
A	60	-	0	-	60	-	0	-	60
B	30	-	30	-	×	-	60	-	40
C	60	-	40	-	×	-	60	-	40
D	60	-	0	-	60	-	20 20 (ダブル)	-	×
E	30	-	30	-	×	-	60	-	30 10 (ダブル)